

第2回 理事会 議事内容

- ◆ 日 時 : 平成30年7月18日(水) 16:00～17:15
- ◆ 場 所 : 大阪市「TKP新大阪ビジネスセンター」
- ◆ 出席者 : 理事15名 オブザーバー8名 委任出席2名

(理事会開会に先立ち、来年3月1日より3年目に入る団体保険制度(生命保険型・入院給付型)について、明治安田生命保険会社より担当者2名が出席し、制度内容に関する説明と日鷲連会員事業所への加入促進を依頼。)

冒頭司会より定款32条の定足数を満たしていることが報告され、今理事会の成立を宣言。

1. 開会の辞

副会長より、開会の辞。

2. 会長挨拶

会長より、挨拶。

3. 議長着席

副会長が議長に選出。

4. 報告事項

(1) 一般経過報告及び会員等移動状況報告

平成30年5月24日(木)～7月17日(火)までの日鷲連、各都道府県連、関係団体等に関する会議・行事及び、会員移動状況と会員増減数等について報告。

(2) ブロック会議実施報告

第5ブロック選出理事より、先般7月12日(木)沖縄県にて開催された平成30年度第5ブロック各県連代表者会議について、会議内容を報告し、来年度の開催地は熊本県に決定したことを報告。

他の出席役員より、第5ブロック会議は、活発な意見があり、大変有意義だったことが伝えられ、今後のブロック会議においても有意義な会議になることが確認された。

(3) 各都道府県連別専門委員会補佐担当者選出報告

各都道府県連より選出された専門委員会補佐担当者を報告。

(4) 法務省若年者就労支援事業第1回求人募集状況報告

法務省若年者就労支援事業の第1回求人募集について、44事業所からの登録申請があったことを報告。

5. 議 事

第1号議案 各委員会報告・提案事項承認に関する件

(1) 総務・技術技能合同委員会

会長より、今後の専門委員会の在り方について、職責職務を全うできるか、意志確認を行ったことを報告。

(2) 第3回技術技能対策委員会

技術技能委員長より、基幹技能者講習トレーナー研修について、基幹技能者講習の新規・更新受講者が増加しており、トレーナー育成が急務になっていることが伝えられ、8月22日（水）～23日（木）の2日間、各ブロックより1名を選出し、トレーナー研修を行うことを提案。

つぎに、外国人実習生に対する教育教材作成案について、6月21日（木）に国交省秋元副大臣が来館した際、外国人実習生の受け入れ時に語学の壁により、教育が困難になっていることを伝え、外国人実習生に対するDVD教材作成の必要性を説明した。その後、7月5日（木）に厚労省の各部署担当者が来館し、DVD教材作成について協議が進んでいることを報告。

(3) 第1回総務委員会

総務委員長より、第1回総務委員会について、時間の都合により開催できなかったことが伝えられ、合同委員会にて各委員の在り方を再認識したことを報告。

議長より、質問を募ったところ、理事より、「フルハーネスの特別教育は、義務付けられるのか?」「5月24日総会時に販売されていたフルハーネスの規格は、今後対応できるのか?」と質問があり、技術技能委員長より、「義務化は、平成34年1月2日より施行され、フルハーネスの規格は、来年平成31年2月に内容が決定する。」と回答。

以上について議場に諮ったところ異議無く承認。

第2号議案 第3回理事会開催に関する件

議長より、次回理事会開催を平成30年11月28日（水）13：00より日鷺連会館にて行うことを議場に諮ったところ異議無く承認。

第3号議案 その他

(1) 西日本を中心とした平成30年7月豪雨により被災された方々に対する義援について

会長より、理事・専門委員が在籍する18都道府県連に、5万円の義援金を募り、県連

のある愛媛県連・広島県連・岡山県連に分配することが提案。

また、被災地では土嚢袋が不足していることから、上記3県連に合計5万枚を募った義援金より送付し、他一部を現金にて配布することが提案。

以上について議場に諮ったところ異議無く承認。

(2) 表彰について

理事より、各県連総会だけでなくブロック会議でも表彰を行いたいことが示され、本部事務局へ申請して頂ければブロック会議においても開催県連から1名表彰できることが伝えられた。

6. 開会の辞

副会長より、閉会の辞。